鉄鋼記号の見方と機械構造用鋼記号体系

鉄鋼記号の見方

原則として次の3つの部分から構成されている。

（1） 最初の部分は材質を表す。

英語、ローマ字の頭文字、元素記号を用いて材質を表す。

S；鉄鋼材料（Steel）　　F；鉄（Ferrum）

（2） 次の部分は規格名又は製品名を表す。

英語、ローマ字の頭文字を用いて板、棒、管、鋳造などの製品の形状の種類や用途を表す記号を組合せて表す。

P；薄板（Plate）　　U；特殊用途（Use）　　W；線材（Wire）　　T；管（Tube）

K；工具（Kogu）　　C；鋳造（Casting）　　F ；鍛造（Forging）

構造用合金鋼は例外

（3） 最後の部分は種類を表す。

材料の種類番号、最低引張強さ又は耐力を示す。

例　S　S　400　S　UJ　2

(1)　(1)　(3)　(1)　(2)　(3)

備考　形状や製造方法など記号化する場合には種類記号に続けて表す。

(a) 形状

W；線　　CS；冷延滞　　HS；熱延滞　　TP；配線用管　　等

(b) 製造方法

－S－H；熱間仕上継目無鋼管　　－S－C；冷間仕上継目無鋼管

－D9　；冷間引抜（9級）　　－T8　；切削（8級）

－G7　；研削（7級）　　等

(c) 熱処理

R；圧延のまま　　A；焼なまし　　N；焼ならし

Q；焼入焼戻し　　S；固溶化熱処理

機械構造用鋼記号体系

種類記号は、鋼を表す記号、主要合金記号、主要合金元素量コード、炭素量の代表値、及び付加記号で構成。

S　○○○　□　□□　○

(1)　(2)　(3)　(4)　(5)

（1） 鋼を表す記号

（2） 主要合金元素記号。

主要合金元素の組合せを表す。

元素名	単位の場合	複合の場合
マンガン	Mn	Mn
クロム	Cr	C
モリムデン	Mo	M
ニッケル	Ni	N
アルミニウム	Al	A

（3） 主要合金元素量コード

主要合金元素の量を区別するコード

（4） 炭素量の代表値

炭素含有量を代表するものである。規定された炭素量の中央値に100倍した値を用いる。

（5） 付加記号

被削性改善のための特別元素添加鋼

鉛添加鋼　　L

硫黄添加鋼　　S

カルシウム添加鋼　U

化学成分以外に特別な特性を保証する場合

焼入性保証鋼　　H

はだ焼用炭素鋼　　K